



発行 緒川地区コミュニティ
推進協議会 ☎83-3006

編集 総務・広報部
機関紙編集委員会

発行日 2026年1月1日
第217号



迎春

写真提供 夏目 勝さん

希望 正月 希望

鳥居京子

鈴木政七

千代子

提供 「メドック東浦」利用者さん

年頭のごあいさつ

緒川地区コミュニティ推進協議会会長 水野 行文

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、心からお慶び申し上げます。

今年は、60年に一度巡ってくる丙午の年です。力強くまっすぐ前に進む馬が連想され、新しい挑戦や発展が期待される年と考えられています。コロナの影響で様々な活動が制限されましたが、コミュニティの活動が安心して実施できるようになり、大変有難く思います。

令和元年度にコミュニティの組織が見直され、青パトや夜間パトロールが防犯・防災部の活動として位置づけられました。現在は、総務・広報部、体育部、文化部、ふれあい部、防犯・防災部の5部が活動しています。そして、まちづくり実行委員会もイエロー・カメレオン、スマイルおがわの3チームが活動に取り組んでいます。

また、今年度は東浦町総合防災訓練が、令和7年11月16日に北部中学校を会場に行われました。字議員や区議員が受付を担当し、防犯・防災部員が水道サービスクと協力して給水訓練を実施しました。体育館では、心肺蘇生、避難生活訓練、災害ボランティアや多言語支援センターの開設訓練が行われました。ホールで行われたドローン操縦体験や、運動場で実施された子ども防火服や子ども制服の試着、消防車と白バイの乗車体験などが人気がありました。

今年一年が幸せで心豊かに過ごせる年になりますように願っております。



総合防災訓練の訓練内容紹介

- 多岐にわたるエリアが設けられ、それぞれが見学したいエリアで体験訓練等を行いました。
- 心肺蘇生訓練
 - 避難所生活訓練
 - 災害ボランティアセンター開設訓練
 - ドローン操縦体験
 - ペット同行避難訓練
 - 防災グッズ等の紹介
 - 初期消火訓練・心給水訓練
 - 災害対策車両展示・子ども制服試着体験乗車
 - 消防車両展示・子ども防火服試着・試乗体験
 - 無線通信体験
 - メディア防災チャンネルの紹介
 - 給電実演
 - 停電情報アプリ・感震ブレイカー紹介
 - 耐震倒壊実験模型展示・耐震関係補助制度紹介

行事予定

◆新春もちつき・カラオケ演芸大会 1/18

今年度最後の行事です。皆様のご参加をお待ちしています。

令和7年度盆踊り大会収支報告

【収 入】

協 賛 金 608,000円
 バザー売上 9,800円
 繰 入 45,311円
 合 計 663,111円

【支 出】

練 習 費 10,957円
 (講習会・新曲音源代等)
 会場設営・取壊し 94,160円
 (電気配線代・スピーカー設置代等)
 運 営 費 151,168円
 (抽選機代・お茶代・アイス代等)
 景 品 費 286,555円
 (抽選会景品・アトラクション景品代)
 櫓部材費 5,479円
 (床用コンパネ・ネジ及びブラケット代等)
 団体へ助成 5,510円
 雑 費 19,282円
 (各文書郵送代)
 合 計 663,111円



東浦町総合防災訓練実施

令和7年11月16日(日) 北部中学校にて

自分の命、
家族の命を守ろう



あなたは、もしもの時のための準備はできていますか？もしもの時に落ちていて行動できますか？総合防災体制の確立と皆の防災意識が高まることを目的に訓練が行われました。

この機会に防災について考え、今後も防災訓練に積極的に参加し、体験することのできるという時に備えましょう。



'25おがわコミュニティまつり

11月2日(日)

晴天に恵まれたコミュニティまつり当日、開始前から抽選券や50円券を手に行列ができ、総務・広報部担当の抽選会、ふれあい部のポン菓子・やきとり・だんご、体育部のみかんのつかみどり・輪投げ・パターゴルフ・射的と、それぞれが賑わいをみせていました。また、まちづくり実行委員会の紙飛行機のコーナーでは歓声とため息が飛び交っていました。

ホールでは「メドック東浦」の利用者さんの作品展示もあり、バラエティ豊かな展示となりました。また、北中生が「盛りあげ隊」としてゲームを企画し児童館別棟で参加者を楽しませていました。ご協力くださったコミュニティのスタッフ・中学生ボランティアの方々、ありがとうございました。

総務・広報部長 前田 邦子



防災グッズ展示



文化展

文化展・ふれあい広場・バザーなど
いずれのコーナーも大盛況



折り紙教室



ポン菓子



笑顔いっぱい、コミュニティまつり



おがわっ子広場

フェスティバル

4年 深谷 紫月

私は、おがわっ子フェスティバルでござんつねのけきをたんとしました。その中で兵十の役をつとめました。はじめてけきにちよう戦しました。セリフ、動きをおぼえるのが大変でした。兵十がじゆうをうつしんて最初は音がなかつたため、うっている感じが伝わりませんでした。そこで、友だちの意見を取り入れてじゆうの音が作れてとてもうれしかったです。



タブレットを使って本当の映画館で流れているような音楽やセリフをみんなで作りあげました。練習を重ねていくうちにだんだん役になりきることができました。

ついに本番がきました。今まで練習してきた成果がはつきできました。それは、このメンバーだからだと私は思いました。みんなが一致団結し、のりこえてきたからです。お客さんからはすくはく手をいただきました。来年もみんなで協力していききたいと思います。



モルック大会



令和7年度のモルック大会は雨模様の朝から始まりました。リーダーであと30分でやむ予測を根拠に開始を遅らせました。参加の皆さんの思いが通じたのか、やがて雨もやみ、中止することなく開催することができました。

競技は、1チーム3人の21チームが参加し、小学生・大人・混合のカテゴリに分かれ、50点獲得を競うものです。

緒川小のグラウンドは雨の影響で、モルック競技には最悪のコンディションでしたが、各レーンとも狙いを定めてスキットルを倒し、50点をクリアしていました。

表彰式を終

え、泥まみれのスキットルを洗い、返却しました。スキットルの皆さんに感謝いたします。



体育部長 深谷 康司



編集後記

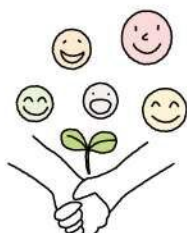
先日のコミュニティまつりは、想像以上の賑わいで、子どもたちの笑顔や地域の方々の交流がとても暖かく感じられました。

準備は大変でしたが、当日の活気に触れると、その苦労さえも心地よい達成感に変わりました。

地域がゆるやかにつながり、小さな輪が広がっていく瞬間を近くで見ることができ、スタッフとして関わる楽しさを改めて感じました。

まだ慣れないことが多いですが、これからも地域の一員として力になれたらと思います。

この緒川の日常が、これからも優しい笑顔で満ちますように。



〔機関紙編集委員会〕

【委員長】 山崎 宏子
【委員】 前田 邦子 坂野 朋生
鷹羽 幸司 鈴木 成男
遠藤 祐治 杉本愛理沙
中村 圭子 山下 義之
石川真由美